

処女 (2001)

A MA SOEUR !
FAT GIRL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス/イタリア/スペイン

色彩 Color

時間 86分

初公開日 2003/03/21

公開情報 プレノンアッシュ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

はじめてだからって、何が悪いの!?

【解説】

「本当に若い娘」や「ロマンスX」など、女性の視点からセックスの問題を取り上げ、そのテーマとともに大胆かつ衝撃的な描き方が常に物議を醸してきたカトリーヌ・ブレイヤ監督が、今度は対照的な2人の姉妹を主人公に処女喪失について描いた問題作。2001年のベルリン映画祭ではマンフレッド賞を受賞。

15歳の美しい姉エレナと13歳の太った妹アナイス。姉妹にとって目下、共通の関心事は“ロスト・バージョン”。しかし、本当に愛し合う相手でなければ最後の一线を越えられないと考えるエレナに対し、アナイスは“処女を捧げるのに相手が誰かは関係ない”と対照的。そして夏休み、家族と出掛けたバカンス先で早速彼女たちにチャンスが訪れる。2人はカフェでイタリア人の大学生フェルナンドと出会い、積極的にアピールするエレナはフェルナンドと急接近。一方、アナイスはその様子を冷めた目で見つめるのだったが…。

【クレジット】

監督	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
製作	ジャン＝フランソワ・ルプティ	Jean-Francois Lepetit	
共同製作	コンチータ・アイロルディ	Conchita Airoidi	
脚本	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
撮影	ジョルゴス・アルヴァニティス	Yorgos Arvanitis	
出演	アナイス・ルブー	Anais Reboux	アナイス
	ロキサーヌ・メスキダ		エレナ
	リベロ・デ・リエンツォ	Libero De Rienzo	フェルナンド
	アルシネ・カンジアン	Arsinee Khanjian	母
	ラウラ・ベッティ	Laura Betti	フェルナンドの母
	ロマン・グピル	Romain Goupil	フランソワ